

**令和3年度 長野市伝統環境保存審議会における発言要旨**  
(令和3年12月6日 於:松代公民館)

昭和58年4月の条例施行から約40年となる伝統環境保存事業の現状と事業を取り巻く課題について、各委員からいただいた発言の要旨。

**制度を維持**

- 色だけは統一されていて、それだけでもすばらしい。今のままでも十分意味がある
- 現状維持は最低限必要
- 40年以上動いてきた蓄積がある。制度自体は存続させていくべきだろう
- 通りから見た外観だけでも残せたら
- 新規で入ってきた達も含めて、住民の話し合い、守り育てるということを語ったり広報したりしていくことが必要。地域で同じ志を認識していく
- 伝統環境保存区域でも、松代の工務店のみに限ることや、こういう方向性で統一していきたいと思っているということを共有して協力を仰いでいくということもできたらよい
- 相談できる窓口の設置。相談窓口がないと施主側としては業者に頼らざるを得ないという部分もある。
- 伝統環境保存条例がなかったら、もっとひどい状態になっていた。この条例があって良かった。これから景観的に保存していくべきなのか、泉水・泉水路をどう守っていかなければいけないのかなども含めて、行政がやるべきこと、地元住民がやるべきこと、業者にも協力してもらいながら、整理しながら進めていく必要がある。

**制度拡充が必要**

- 修繕費の5分の4は補助あるが、5分の1は個人負担。特に若い人には負担が大きい。補助を100%にすれば、門を壊されないで済むのではないか。

**制度の絞り込みが必要****範囲の絞り込み**

- 広域のエリアを守っていくには厳しいのではないか。もう少し絞り込みが必要で縮小する方向がいいのでは
- 範囲は縮小しても一部でも残していけないといけない

## 対象の絞り込み

- 保存と活用という点で整理をしていきながら、何に対して補助をつけていくのかという議論も必要になってくる
- 保存区域においては、あまり観光色を打ち出すのではなく、住む人たちが快適に暮らせる、そこに歴史や文化がきちんと反映されているというのを目指すべきではないか
- 景観を残していくことだけにお金をつけるのは難しい。残すべきものに対して重点的にお金をつける。活用という方面にもお金をつけることが必要。

## 制度不要

- 制度としての限界もあるし、町並みを維持していくという点についても限界がきている
- 今までつぎ込んできたのが、全部更地になってしまっている。「この事業はやる意味があるのか」と行政改革の人たちは言うと思う。
- 小手先を変えて支援の制度を続けても町並みが残せるのかというところにきている。
- 今年度の長野市の伝統環境保存事業の予算は 0 円ということは、長野市の中で、この事業は効果がないし意味がない、というのが総意だと思う。

## 制度の再構築が必要

- 大きな視野で松代地区の地域をどうしていきたいのか、方向性を決めていかなければいけない。
- 市の独自条例で進めてきたが、様々な面で規制が緩い。この条例だけで進めていくには限界がある。
- 宅地の相続税の減免まで踏み込まないと広い武家屋敷地は相続できないことが背景にある。税金面での維持のしやすさという問題が解決できたら、残る可能性もある。
- 何のための保存なのか、誰のための保存なのか、町づくりや地域振興という視点からそうした基本的な部分がどう整理されているのか
- 「伝統環境」というモヤっとした言葉で始まっているので、何を残すべきか分からない状況になってきている
- 何のために残していくべきか議論をしていかないと、おそらく新しい住民の方はこの制度の存在自体を知らない
- どんな街にしていくのか、松代全体のビジョンが必要。そこまで踏み込む必要

がある。

●「整備をした伝統的建築物の群が観光資源になる＝町にお金が落ちる」という仕組みがうまくいっているところは、そういう制度に前向きになる。

●松代を守り育てていくために、どういうことが大事なのか考えていく必要がある。

●住民にとって保存ということでもメリットがあるということを整理して説明していかないと進まない

●松代城跡第2期整備計画と伝統環境保存事業を関連付けできないか。

●伝統的な建物の残り状況を考えると、かつてはこの範囲が良かったのかもしれないが、今はそうではない。そうすると、この範囲の中にある伝統的な建物だけが補助を与えられて残されていくことに対してやや違和感がある。その周りには何十と登録有形文化財があるわけで、そこに対してきちんと補助を出していく仕組みをセットで考えていかないと残すべき物が残らないということになってしまう。この範囲の中に残っている伝統的な建物だけを残していくだけでは、松代らしさは残っていかない。松代全体の中で残すべきものはなんだろうと考えていきながら、適切に補助を出していく仕組み作りが必要。その時には、市の登録の制度などが必要になってくる。

### **考慮すべき最近の傾向**

●住居には非常によい場所で、観光客が来られるのは困るという人たちは多いと思う

●住まいとして落ち着いて安全で安心の地区になろうとしている方向で開発が進んでいる

●観光で稼ごうという商店はなくなって、住まいとして住んでいる方がほとんど。観光で稼ごうという必死になれる人たちが少なくなってきている

●松代はインテリジェンスな方が多いところ。開発やビジネスよりは歴史的な大事な貴重な痕跡を残さなきゃいけないと、学術的な方向に考えが行く